(6.3 山新より抜粋)
味読　郷土の本
「元憲兵・土屋芳雄　つぐないに　ひたすら歩み」
　花鳥賊　康繁　編著
　評者　小笠原千秋・NPO 法人 Sisterhood 代表理事

戦中 12 年間に
「328 人の命を奪い、1917 人に逮捕・拷問・投獄」
をした上山の憲兵・土屋芳雄氏(2001 年没)
シベリア抑留と中国戦犯生活で残した「未公開手記」から、
児童文学者・花鳥賊　康繁氏が自費出版。
自らの加害体験を記したのは珍しい。

戦時中とはいえ
「犯した罪を不特定の人に知られるのはたまらなく辛いこと」
しかし彼にはそれをする大きな使命。
人外の扱いのシベリア抑留後に、中国戦犯生活の奇跡体験。
三光作戦「奪いつくす・焼き尽くす・殺しつくす」をし、
戦犯になり、「処刑も仕方ない」と覚悟を決めた。
当時の中国政府は「敵であっても同じ人間」と考え。
虐殺・拷問無し、食料も満足に支給に衝撃を受け、
自分らの行為を心から悔いて、帰国後は平和運動を続けた。
「侵略戦争の中で鬼となり、犯した罪を背負い続ける苦しみを
日本の若者に味わわせてはならぬ」の切なる願いが、
自らの罪を世に知らしめる動機に！

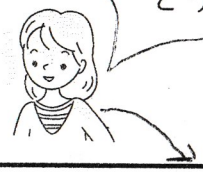
手記で「犯した罪を思い出しては眠れぬ日々が続く、
戦争心的外傷後ストレス障害(PTSD)は、
こんな痛みの中で苦しんで「戦争」が、
奪うだけで何ももたらさない事実が見える。
新たな戦争の影が身近に迫る今、
「戦場の真実を伝える重い言葉」

尚、
花鳥賊さんが、本をだしたきっかけは
高市総理の
「台湾有事で、日本が直接攻撃を受けなくとも
自衛隊が米軍と一緒に参戦する」示唆発言
そして、発言に賛同する世論に危機感・・・　故にとの事。

「花鳥賊　康繁」
講演シリーズ

① 2026北村山平和のつどい
8.8 平和のバトンをつぎの世代に
土　9:30～12:10
村山・甑葉プラザ　500円
～元憲兵・土屋芳雄
つぐないに　ひたすら歩み～
講演　花鳥賊　康繁・児童文学者
集い実行委員会

②企画中 **花鳥賊さんの　話を聞く会**
9/13日　13:30　山形市 [illegible] コミセン　200円
戦争を語り継ぐ～土屋芳雄の体験～
どうにかさんなね山形！の会



③ 米軍射撃演習場の弾道下の村
9.26 平和の森フォーラム　PTSD
土　10:00～12:00　村山市白鳥2455
雨天　宮下公民館　白鳥1592-8

2025北村山平和のつどいで、
鶴岡出身の黒井秋夫さんの話を聞きました
戦争が終わってなおその記憶に苦しんだ
兵士と、遺族が抱え続ける苦しみと葛藤
戦後80年経ても尚続いている事実
PTSDをメインに語ってもらいます

「父は憲兵　PTSDで家族へ暴力」
～戦場から戻った父のその後。
上山・土屋憲兵の証言。
そして同級生は大高根村(村山市)で
米軍ジープに轢き殺された～

花鳥賊

無料ですが
芋煮汁有り 9.20迄 要申込
北村山平和センター0237-55-2962